

令和3年1月19日

青森県議会議長 森内 之保留 殿

小桧山 吉紀



平成30年度政務活動費に係る収支報告書の訂正届

平成31年4月26日付けで提出した平成30年度収支報告書について、下記のとおり訂正します。

記

訂正する文書	訂正箇所
平成30年度政務活動費に係る収支報告書	「2 支出」の表中「調査研究費」、「合計」の金額、「3 差引」の金額
調査研究費に係る支出証明書	No.2の表中整理番号109に係るものの削除及び「計」の支出額
調査研究費に係る領収書等の写し集計表	整理番号110に係るものの削除及び整理番号110が記載されているものの「合計」欄
調査研究費に係る政務活動実績報告書	整理番号109、110（2月18日）に係るものの削除
調査研究費に係る領収書等の写し貼付用紙	整理番号110に係るものの削除

令和2年8月5日

青森県議会議長 森内 之保留 殿

小桧山 吉紀



平成30年度政務活動費に係る収支報告書の訂正届

平成31年4月26日付けで提出した平成30年度収支報告書について、下記のとおり訂正します。

記

訂正する文書	訂正箇所
平成30年度政務活動費に係る収支報告書	「2 支出」の表中「調査研究費」、「合計」の金額、「3 差引」の金額
調査研究費に係る支出証明書	No.1の表中整理番号51、55、57、59、61、63、65、72、82に係るものの削除及び「計」の支出額
	No.2の表中整理番号107に係るものの削除及び「計」の支出額
調査研究費に係る領収書等の写し集計表	整理番号52、56、58、60、62、64、66の削除及び整理番号52、56、58、60、62、64、66が記載されているものの「合計」欄
	整理番号73、83、108の削除及び整理番号73、83、108が記載されているものの「合計」欄
調査研究費に係る政務活動実績報告書	整理番号51、52(4月24日)、55、56(5月8日)、57、58(5月9日)、59、60(5月11日)、61、62(5月14日)、63、64(5月18日)、65、66(5月29日)72、73(7月2日)、82、83(8月8日)、107、108(2月14日)に係るものの削除
	整理番号109、110に係る「場所」、「訪問先」、「概要」
調査研究費に係る領収書等の写し貼付用紙	整理番号52、56、58、60、62、64、66、73、83、108に係るものの削除

令和2年7月8日

青森県議会議長 森内 之保留 殿

小桧山 吉紀



平成30年度政務活動費に係る収支報告書の訂正届

平成31年4月26日付けで提出した平成30年度収支報告書について、下記のとおり訂正します。

記

訂正する文書	訂正箇所
調査研究費に係る支出証明書	No.1の表中整理番号59に係る「事業名、用途及び内容」の訂正

平成31年4月26日

平成 30 年度政務活動費に係る収支報告書

青森県議会議長 熊谷 雄一 殿

青森県議会議員 小檜山 吉紀



1 収入

(政務活動費交付額) 3,720,000 円

2 支出

経 費	金額(円)	主 な 内 容
調 査 研 究 費	7,000,000 1,055,229 1,001,813 (R3.1.19訂正)	(R2.8.5訂正) ガソリン代、事務委託料、航空券代
研 修 費	3,000	勉強会会費
広 聴 広 報 費	249,300	県政報告会の開催費用
要請陳情等活動費	4,860	ガソリン代、通行料金
会 議 費	4,860	ガソリン代、通行料金
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	182,524	新聞購読料
事 務 所 費	0	
事 務 費	68,968	携帯電話料金
人 件 費	600,000	事務職員賃金
合 計	2,120,000 2,168,785 2,115,325 (R3.1.19訂正)	(R2.8.5訂正)

3 差引

(収入額－支出額) 1,604,675 円

費目ごとの^{あん}按分率一覧

議員名 小檜山 吉紀

1 事務費

(1) 固定電話・ファクシミリ(番号ごとに記載)

電話 ファクシミリ (番号 - -) 自宅設置 事務所設置

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 通話時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合

(2) ネット回線使用料・プロバイダ料

契約先 () 自宅設置 事務所設置

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 接続時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合

(3) 携帯電話 (番号 - -)

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

私的活動 通話時間

実態によることが著しく困難な場合

(4) 情報端末(タブレット等)

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

私的活動 通信時間

実態によることが著しく困難な場合

(5) 消耗品、備品等

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

私的活動 使用頻度

実態によることが著しく困難な場合

2 広聴広報費

(1) 広報紙の作成、発行等に要する経費

政務活動以外の部分を含む 後援会活動 紙面割合による場合

政務活動のみ 政党活動 紙面割合によることが著しく困難な場合

(2) ホームページの作成等に要する経費

政務活動以外の部分を含む 後援会活動 面積割合による場合

政務活動のみ 政党活動 面積割合によることが著しく困難な場合

支出証明書

NO. 1

経費		調査研究費					
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	事業名、用途及び内容		備考
46	30.4.11	3,500	0	ガソリン代	郷土史の在り方に関する調査	30.4.11 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円
48	30.4.15	3,500	0	ガソリン代	棟方志功コレクション展の調査	30.4.15 青森市安田	青森市⇄自宅 140km×25円
51	30.4.24	3,500	0	ガソリン代	県産米の市場価格に関する調査	30.4.24 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
53	30.5.1	3,500	0	ガソリン代	大型客船埠頭の調査	30.5.1 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円
55	30.5.8	3,500	0	ガソリン代	男女共同参画社会の現状調査	30.5.8 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
57	30.5.9	3,500	0	ガソリン代	三股質問内容打ち合わせ	30.5.9 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
59	30.5.11	3,500	0	ガソリン代	森田林植樹の進行状況についての調査 岩手県立博物館	30.5.11 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
61	30.5.14	3,500	0	ガソリン代	密漁監視体制に関する調査	30.5.14 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
63	30.5.18	3,500	0	ガソリン代	障害者雇用の現状調査	30.5.18 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
65	30.5.29	3,500	0	ガソリン代	種子法による種子生産の仕組み調査	30.5.29 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
67	30.6.12	3,500	0	ガソリン代	私学からの要請文一本化に関する調査	30.6.12 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円
69	30.6.23	3,500	0	ガソリン代	三内丸山遺跡時遊館の調査	30.6.23 青森市三内	三内丸山⇄自宅 140km×25円
72	30.7.2	3,500	0	ガソリン代	青森県庁における障害者雇用調査	30.7.2 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
76	30.8.2	4,300	0	ガソリン代	世界遺産登録に関する調査	30.8.2 岩手県一戸町	岩手県一戸町⇄自宅 172km×25円
82	30.8.8	3,500	0	ガソリン代	世界遺産登録に向けたスケジュール調査	30.8.8 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円 (R2.5.5訂正)
84	30.8.17	2,950	0	ガソリン代	大雨警報発令翌日の河川調査	30.8.17 三戸郡南部町	三戸⇄自宅 118km×25円
89	30.8.20	3,500	0	ガソリン代	次期青森県基本計画に関する調査	30.8.20 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円
91	30.8.28	3,500	0	ガソリン代	県戦没者追悼式に関する調査	30.8.28 青森市堤町	青森市⇄自宅 140km×25円
93	30.9.14	3,500	0	ガソリン代	八戸港におけるヒアリ発生状況の調査	30.9.14 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円
95	30.10.17	3,500	0	ガソリン代	青森県産和牛の商標登録に関する調査	30.10.17 青森市長島	青森市⇄自宅 140km×25円
計		38,750 70,250					(R2.5.5訂正)

上記のとおり相違ないことを証明します。

青森県議会議員

小檜山 吉紀



領収書等の写し集計表

経 費		調査研究費			
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
6	30.4.16	35,000	自由民主党会派	事務委託料(4月分)	青森市長島
7	30.5.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料(5月分)	青森市長島
8	30.6.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料(6月分)	青森市長島
9	30.7.20	35,000	自由民主党会派	事務委託料(7月分)	青森市長島
10	30.8.20	35,000	自由民主党会派	事務委託料(8月分)	青森市長島
11	30.9.18	35,000	自由民主党会派	事務委託料(9月分)	青森市長島
12	30.10.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料(10月分)	青森市長島
13	30.11.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料(11月分)	青森市長島
14	30.12.17	35,000	自由民主党会派	事務委託料(12月分)	青森市長島
15	31.1.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料(1月分)	青森市長島
16	31.2.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料(2月分)	青森市長島
17	31.3.15	35,000	自由民主党会派	事務委託料(3月分)	青森市長島
47	30.4.11	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
49	30.4.15	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市安田
50	30.4.15	510	棟方志功記念館	チケット代	青森市安田
52	30.4.24	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
54	30.5.1	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
56	30.5.8	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
58	30.5.9	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
60	30.5.11	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
62	30.5.14	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
64	30.5.18	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
66	30.5.29	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
68	30.6.12	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
70	30.6.23	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市三内
合 計		427,310 436,830	(R2.8.5訂正)		

領収書等の写し集計表

経費	調査研究費				
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
71	30.6.23	410	東日本高速道路(株)	通行料金	青森市三内
73	30.7.2	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
77	30.8.2	1,670	東日本高速道路(株)	通行料金	岩手県一戸町
78	30.8.2	210	青森県道路公社	通行料金	岩手県一戸町
79	30.8.2	210	青森県道路公社	通行料金	岩手県一戸町
80	30.8.2	1,670	東日本高速道路(株)	通行料金	岩手県一戸町
81	30.8.2	300	御所野縄文博物館	入館料	岩手県一戸町
83	30.8.8	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.8.5訂正)
85	30.8.17	210	青森県道路公社	通行料金	三戸郡南部町
86	30.8.17	160	東日本高速道路(株)	通行料金	三戸郡南部町
87	30.8.17	210	青森県道路公社	通行料金	三戸郡南部町
88	30.8.17	160	東日本高速道路(株)	通行料金	三戸郡南部町
90	30.8.20	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
92	30.8.28	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市堤町
94	30.9.14	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
96	30.10.17	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
100	30.11.17	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市本町
101	30.11.17	310	TTHAグループ	観覧料	青森市本町
102	30.10.10	361,600	(株)オアシスツアーセンター	航空券及び宿泊代	パラオ共和国
103	30.10.25	203,632	KElvin Towai	現地ガイド代、パーミット代、現地ドライバー代	パラオ共和国
108	31.2.14	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R2.9.5訂正)
110	31.2.18	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島 (R3.1.19訂正)
111	31.3.25	-45,299	自由民主党会派	事務委託料精算	
合計		532,253	(R3.1.19訂正)		
		537,603	(R2.8.5訂正)		

政務活動実績報告書

議員名

小檜山 吉紀

事業名	世界遺産登録に関する調査				
経費	調査研究費				
実施年月日	30.8.2				
場所	岩手県一戸町				
同行議員					
目的	岩手県内の「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である御所野遺跡を調査し、本県施策策定の参考とするもの。				
日程	8月2日 自宅-岩手県一戸町-御所野縄文博物館-自宅 (移動は自家用車)				
訪問内容及先び等	8月2日 10:50~11:40 御所野縄文博物館 御所野縄文博物館内をまわり、展示内容などを調査した。本県の世界遺産登録推進に関する施策や今後の議会質疑等に反映させていきたい。				
経費の内訳	主な支出内容	支出額(円)	主な品名	整理番号	
	交通費	4,300	ガソリン代	76	
	宿泊費				
	受講料				
	その他	4,060	通行料金	77	78 79 80 81
合計額	8,360				

政務活動実績報告書

議員名

小檜山 吉紀

事業名	パラオ共和国の戦跡利用を含む観光振興政策、本県出身戦没者に係る遺骨収集及び学校教育の取組状況等についての調査			
経費	調査研究費			
実施年月日	30.10.21～10.26			
場所	パラオ共和国			
同行議員	阿部広悦議員、工藤慎康議員、齊藤直飛人議員			
目的	<p>パラオ共和国における次の調査を行い、本県における今後の諸施策立案に役立てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パラオ共和国の戦跡利用を含む観光振興政策に係る取組及び入込状況について、内容を聴取し、意見交換及び現地調査 2. 青森県出身戦没者に係る遺骨収集等の取組について、内容を聴取し、意見交換及び現地調査 3. 学校教育の状況等について意見交換 			
日程	<p>10月21日 自宅－(自家用車)－青森空港－(航空機)－仁川空港発－(航空機)(機中泊)</p> <p>10月22日 パラオ・コロール空港着－パラオ本島(コロール州泊)</p> <p>10月23日 パラオ本島(コロール州泊)</p> <p>10月24日 パラオ本島－(ボート)－ペリリュウ島(ペリリュウ州泊)</p> <p>10月25日 ペリリュウ島－(ボート)－パラオ本島(コロール州泊)</p> <p>10月26日 パラオ本島－コロール空港－(航空機)－仁川空港－(航空機)－青森空港－(自家用車)－自宅 ※パラオ本島及びペリリュウ島内は、全て借上車で移動。</p>			
訪問内容及先び等	<p>10月22日 在パラオ日本国大使館訪問</p> <p>10月23日 戦跡・遺跡調査</p> <p>10月24日 ペリリュウ州知事訪問、小学校視察、戦跡・遺骨収集状況調査</p> <p>10月25日 アンガウル州知事訪問、小学校視察、リン鉱石採掘場跡及び戦跡・遺骨収集状況調査</p> <p>パラオ共和国の観光振興政策、遺骨収集状況及び教育現場について、調査及び意見交換等を行った。今後の議会質疑等に反映させていきたい。</p>			
経費の内訳等	主な支出内容	支出額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	361,600	航空券及び宿泊代	102
	宿泊費			
	受講料			
	その他	203,632	船ガイド代、パーミット代、現地ドライバー	103
合計額		565,232		

平成30年度
政務活動調査報告書

I：調査者

阿部広悦、小桧山吉紀、工藤慎康、齋藤直飛人

II：日程

平成30年10月21日（日）から平成30年10月26日（金）

III：旅程

10月21日（日）青森空港集合

↓大韓航空でパラオへ向かう（仁川国際空港経由）

10月22日（月）↓

午前2時頃パラオ到着。

↓ホテル送迎バス

ホテル到着・チェックイン・仮眠。

↓チャーター車両にて本島戦跡調査。

↓在パラオ日本国大使館にて大使と意見交換。

ホテル

10月23日（火）ホテル出発。

↓チャーター車両

↓パラオ本島戦跡調査。

ホテル到着

10月24日（水）ホテル出発

↓タクシー

波止場

↓チャーターボートにてペリリュー島へ。

ペリリュー島波止場

↓ホテル送迎車

ホテルチェックイン

↓チャーター車両にてペリリュー島戦跡調査。

ホテル到着

10月25日（木）ホテル出発

↓海上波浪によりアンガウル島へ行けず。

↓チャーター車両にてペリリュー島戦跡調査。

ホテル到着

↓ホテル送迎車

ペリリュー島波止場

↓チャーター船にてパラオ本島へ。

↓帰途、ゼロ戦水没地点・砲台陣地跡を海上から調査。

パラオ本島波止場到着

↓タクシーにてホテルへ。

ホテル到着・チェックイン

↓チャーター車にて別ホテルへ。

↓アンガウル州知事、アンガウル酋長らと会食・意見交換。

ホテル到着・仮眠

10月26日(金) ホテルチェックアウト(午前1時)

↓ホテル送迎バスにて空港へ。

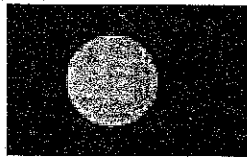
パラオ国際空港到着

↓大韓航空にて青森空港へ。(仁川国際空港経由)

青森空港到着・現地解散

IV: パラオの概要

- ①国名: パラオ共和国
Belu er a Belau (パラオ語)
Republic of Palau (英語)
- ②公用語: パラオ語、英語
日本語 (アンガウル州のみ)
ソンソロール語 (ソンソロール州のみ)
トビ語 (ハトホベイ州のみ)
- ③首都: マルキョク
- ④最大の都市: コロール
- ⑤政治: 大統領制
- ⑥面積: 459平方キロメートル (世界第198位)
- ⑦人口: 21,431人 (2017年統計) (世界第219位)
人口密度は、46.6人/平方キロメートル
- ⑧GDP: 2億4600万米ドル (2013年)
- ⑨独立: 1994年10月1日 (国連信託統治国のアメリカ合衆国から独立)
- ⑩通貨: 米ドル
- ⑪時間帯: UTC+9 (日本と同じ)
- ⑫国旗: 海を表す青地に月を表す黄色い丸。



- ⑬歴史: 有史以前
有史以前のパラオについては未解明。約4000年前からの生活遺跡が確認されている。

スペイン植民地

16世紀頃、スペイン人が初めて訪問する。1885年にスペイン領東インドの一部になった。このときに天然痘と搾取によってパラオの人口は10%程度になったという。

ドイツ植民地

1899年、スペインの国力衰退によって450万ドルでパラオを含むスペイン領東インドをドイツ帝国に売却する。

ドイツは、ココナッツやタピオカ栽培、アンガウル島でリン鉱石採掘などの産業振興を始めた。しかし、それらで得られた収益は全てドイツに独占され、パラオは紙幣経済感覚が浸透することがなかった。ドイツは、インフラ整備や初等教育を実施することもなく、ドイツ時代の遺構はほとんど存在していない。

1914年、第1次世界大戦が始まり、当時の日英同盟によって連合国の一部であった日本は海軍をパラオに派遣する。当時のドイツ守備隊は数が少なく、瞬時に降伏させた。

日本委任統治

パリ講和会議に基づきパラオはドイツ植民地支配を脱し日本の委任統治領になり、南洋庁及び南洋庁西部支庁（パラオ支庁）が設置されたことによって多くの日本人が移住し、パラオはミクロネシア諸島の中核的な島となった。昭和18年6月時点における移住者は33,960人。内訳は、日本内地移住者が25,026人、朝鮮系日本人が2,460人。パラオ人は6,474人、スペインやドイツの宣教師が18人との記録がある。

日本は、学校や病院、道路、水道等のインフラ整備や貨幣経済の移管を重点的に実施したことにより、1920年代頃には近代的な町並みが形成された。

1933年（昭和8年）、日本は国際連盟を脱退するが、国際連盟加盟国は日本によるパラオの委任統治継続を認めた。その後日本は、各地に海軍関連施設を建設した。

第2次世界大戦が始まると北西太平洋方面の重要な海軍基地となった。その為、1944年（昭和19年）にアンガウルやペリリューの戦いなどにより日米両軍に多数の戦死者を出した。しかし、ペリリュー島の戦いではパラオ民間人の死者はなかった。1945年（昭和20年）日本の降伏によって日本委任統治が終了した。

アメリカ信託統治

1947年から国際連合の委託を受けたアメリカ合衆国は、パラオを統治下に置く。アメリカはミクロネシア地域に動物園政策を実施する。動物園政策とは、教育や福祉についての援助を行うが産業開

発関係は全く実施しなかった。これによりパラオは産業が発生せず、財政についてはアメリカの援助に頼り切りとなる。従って、パラオ人は就業意欲や労働意欲を失うこととなった。また、食料についてもアメリカからの輸入肉製品が主流となったこともあり、肥満の問題が発生した。

独立への動き

親日的なパラオ人は、アメリカの教育について疑問を持った。それは、アメリカの教育での『日本を悪』とした教育方法である。更に、1979年7月にアメリカによる核兵器の持ち込みを禁じた「非核憲法」を住民投票で可決したが、アメリカ政府の意向を受けた信託統治領高等裁判所が無効を宣言する。これに伴い、非核条項を緩和した憲法草案で住民投票を実施するが否決されることとなる。1980年7月に最初の「非核憲法」で住民投票を実施した結果、可決された。

1981年に自治政府「パラオ共和国」を発足させ、憲法を發布する。翌1982年に、内政・外交権をパラオ、安全保障をアメリカが担うとして、アメリカ軍が駐留する。その見返りとしてアメリカが財政援助をする自由連合盟約を両政府で合意したものの、パラオ住民投票では否決されることとなる。これ以降、1990年まで都合7回の住民投票が実施されたが全て否決されている。

独立

1990年代初頭の冷戦終結を受けて、アメリカにとってパラオの利用価値がなくなった。1992年、パラオ憲法内の非核条項をアメリカとの自由連合協定においてのみ凍結することに決まり、コンパクト承認のための住民投票の可決条件を緩和する憲法改正の住民投票が実施された結果、可決された。同時に大統領選挙が行われ、クニオ・ナカムラが当選した。

1993年には緩和された可決条件の下、8回目の住民投票でアメリカ合衆国とのコンパクトが承認された。これによって、1994年10月1日に、パラオはコンパクトによる自由連合盟約国として独立し、国連による信託統治が終了し、同年に国際連合へ加盟した。

V：第2次世界大戦における本県戦没者

①青森県から出征しパラオ諸島で戦没した人数（陸軍戦没者名簿、海軍調査票による）

戦没者等：陸軍78名（21名）・海軍48名（14名）

括弧内の数字は戦病死数

上記の内、ペリリュー島：陸軍48名・海軍12名

②パラオにおける本県戦没者数の市町村内訳

市町村名	陸海 合計	陸軍		海軍	
		死者数	戦病死	死者数	戦病死
青森市	18	8	1	10	3
弘前市	16	9	2	7	0
八戸市	13	11	4	2	1
黒石市	4	2	1	2	1
五所川原市	4	2	0	2	0
十和田市	4	4	1	0	
三沢市	1	1	0	0	
むつ市	6	2	1	4	1
つがる市	4	2	1	2	1
平川市	6	5	1	1	0
平内町	1	1	1	0	
今別町					
蓬田村	1	1	1	0	
外ヶ浜町	2	0		2	1
鱒ヶ沢町	7	5	1	2	2
深浦町	3	2	0	1	0
西目屋村	2	2	0	0	
藤崎町	1	1	0	0	
大鰐町	2	2	0	0	
田舎館村	1	0		1	1
板柳町	1	1	0	0	
鶴田町	2	1	0	1	0
中泊町	3	2	1	1	0
野辺地町	2	1	0	1	0
七戸町	3	3	0	0	
六戸町	3	1	0	2	1
横浜町	1	1	0	0	
東北町					
六ヶ所村	1	0		1	0
おいらせ町					
大間町					
東通村					
風間浦村	1	1	1	0	
佐井村	1	0		1	1
三戸町	2	2	1	0	
五戸町	3	2	2	1	1
田子町					
南部町	2	2	1	0	
階上町	1	1	0	0	
新郷村					
県外本籍	4	0		4	0
	126	78	21	48	14

※出征者数については、総索引名簿（陸軍兵籍）136,707名・本籍地名簿（陸軍外地赴任）71,467名となっているが海軍については資料がない。また、詳細な記載条件が不明確な名簿であるために正確な出征者数を把握できない。

※戦没者について、各地で全滅しているために記録も発見されず、詳細は不明。

VI：視察報告

10月22日

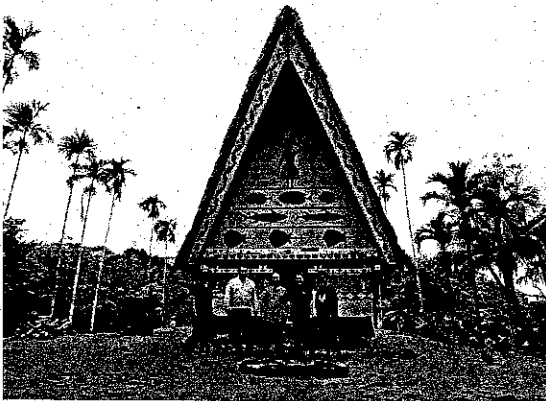
○アイメリーク州・ガスパン州訪問

州知事との意見交換

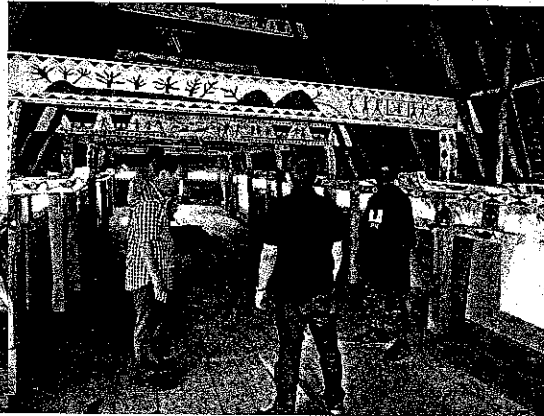
- ・州人口は毎年減少し、少子化も進んでいる。
- ・当州は、天皇皇后両陛下のパラオ訪問後における観光客入込数に変化はない。
- ・州の財源は観光客のパーミットである。従って、今後において観光誘客について努力する。
- ・日本人戦没者の遺骨が州内にも多く埋葬されていることは聞き伝えられている。戦没者の日本帰還の為に埋設地調査に協力する。



州政府訪問後、パラオの伝統的な酋長制度も併存しており州単位で開催される酋長協議会場『アバイ』を訪問する。



酋長協議会会場の『アバイ』



『アバイ』内部

アイメリーク州で発見された旧日本軍トラック



次に、ガスパン州へ移動。州政府オフィスにてパーミットを支払い、旧日本軍揚陸港跡、パラオ台湾試験農場、戦車隊駐屯地跡、国際通信所跡、を順に視察する。



↑ガスパン州政府前に設置されている旧日本軍銃器

↓旧日本軍揚陸港跡

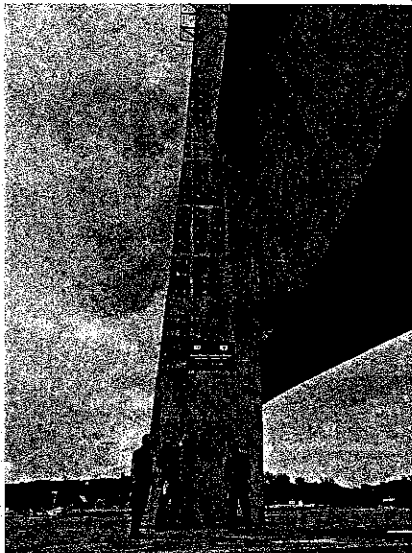
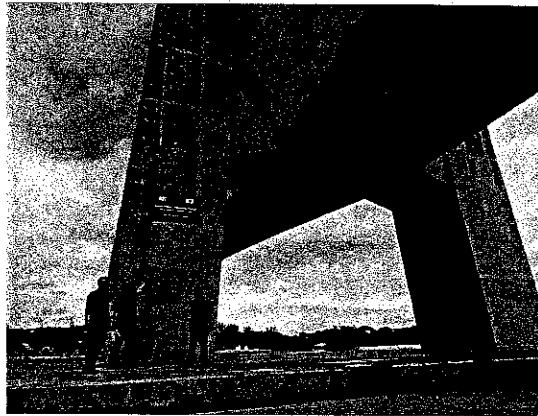


←パラオ本島戦車隊本部撤収時爆破・埋設処分戦車

次に、在パラオ日本国大使館へ大使と面会するために移動する。

移動するメインストリートにある『日本-パラオ 友好の橋』。この橋は、パラオ本島とコロールを繋ぐ橋で、重要なライフラインである電気・水道・電話や貨物輸送等に必要な重要な橋です。

第2次世界大戦終戦後、アメリカの統治領となったパラオは、当時アメリカ発注でこの地に橋を建設することになった。入札は、韓国企業と日本の鹿島



建設で行われた。入札結果は、韓国企業が鹿島建設の約半額で落札し工事が行われた。

1977年に『KBブリッジ』として竣工するが、竣工直後から橋の中央部がたわみはじめ、約20日で4フィート（約1.2m）も陥没した。1990年にパラオ政府は約230万ドルをかけて大規模補修を行うが、1996年9月28日に『KBブリッジ』は中央部から真っ二つに折れて海に突き刺さりました。（死者：1名）

ライフラインの途切れたパラオに三重県から飲料水がコンテナ空輸で運ばれた。日本では、その他に仮設橋の建設援助等も行われた。

1997年、日本ODA政府開発援助によって、約30億円で新たな橋の無償建設を開始。2002年1月11日に鹿島建設によって竣工する。この橋は『Japan Palau Friendship Bridge』（日本名：日本パラオ友好の橋）と命名された。以後、パラオ共和国は様々な国際会議において日本国の協力国となった。



←日本国南洋庁時代の『南洋神社跡地』

現在は個人の敷地となっているが、所有者は跡地をこの様に保全してくれています。我々は、許可をいただいて入らせていただきました。

在パラオ日本国大使館訪問

○山田俊之特命全権大使と面会

中国観光旅行者とパラオ観光経済効果について

- ・中国政策によって米ドル使用国への渡航規制によって中国からの航空便が停止し中国人観光客が激減。これまで中国企業の出資で共同経営していたホテルやレストランが倒産。しかし、台湾企業の出資での共同経営企業が倒産物件を買収、新規経営が進んでいる。



↑大使館内撮影禁止のため
正面玄関にて、大使・書記官と

パラオ政府観光局としては、日本やアメリカからの観光誘客に力を入れているとのことである。しかし、中国からの賄賂を受けている州知事や議員の一部がいることによって障害となる可能性がある。中国人観光客の増加は、政治的意図を含まれていることもあり非常にリスクを伴うことである。

- ・パラオ共和国の地理を考えると航空機によるルートしか考えられない。パラオ共和国大統領は、更なる観光誘客を検討していることもあり、空港の拡張や設備の拡張も検討している。先程、観光局のお話もしたが、現在日本直行便の設定がない。日本直行便の開設について申し入れを受けている。
- ・天皇皇后両陛下のパラオ訪問後、日本各地の遺族会が慰霊参拝に来ているが、ペリリュー島までで、アンガウル島に行く人が居ない。青森県議がアンガウル島まで行く予定とのこと非常に驚いている。

なお、遺骨収集については、現在アンガウル島の調査も実施している段階ですが、既に約300体の遺骨を確認できている。今後、パラオ政府やアンガウル州と調整しながら発掘作業に取りかかることとなる。

面会時間は、当初30分の予定だったが1時間以上となり、他の外交等についてもお話を伺うことが出来た。

10月23日

○アルモノグイ州訪問



←訪問団でアルモノグイ州知事にご挨拶

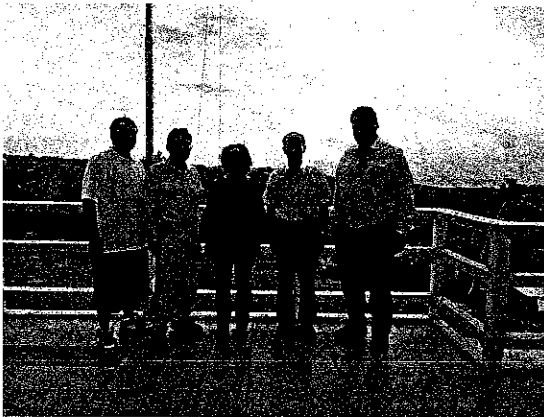


アルモノグイ州知事と意見交換→

◇アルモノグイ州知事と意見交換

- ・アルモノグイ州はインフラ整備も遅れておりパラオ本島周回道路からも離れている。州政府前の道路についてもようやくオフィス前にたどり着いた。この先の集落までまだまだ距離がある状態である。現在は、台湾支援で各インフラの整備を進めているが、暑さやスコールの影響でなかなか工事が進まない。パラオ人の男性は、アメリカ統治の影響で働く意欲がない。重作業労働者は、インドネシア等の外国人労働者に頼らざるを得ない。アルモノグイ州は中心部から離れていることもあり作業時間が制約されている。
- ・州内の戦跡について調査をしている。これらの観光資源化を検討している。
- ・パラオは、観光客の州内立ち入り時に支払われるパーミットが貴重な財源であることから、今後も努力する。

補足：アルモノグイ州知事は、パラオ共和国大統領の妹



←アルモノグイ州政府テラスで撮影
左下方に見える土山は、道路工事における残土を堆積しているものである。

◇戦跡調査



アルマテン砲台跡

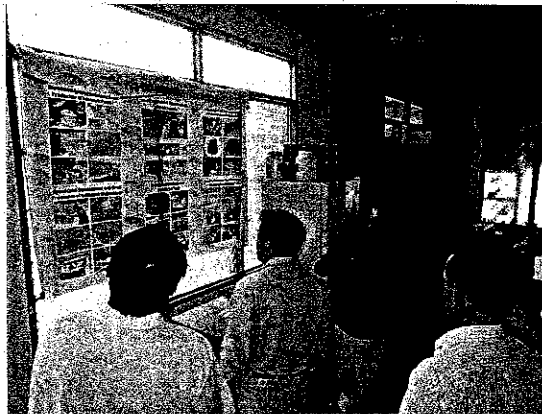
この砲台はパラオ本島北部から侵入してくる艦船に対応するために設置された砲台。砲は、戦艦三笠に搭載されていた物と同型と言われている。

アメリカ統治中にも発見されることの無かった砲台陣地である。

現在は、森を切り開き写真のように見ることが出来る。尚、土地は個人所有地。

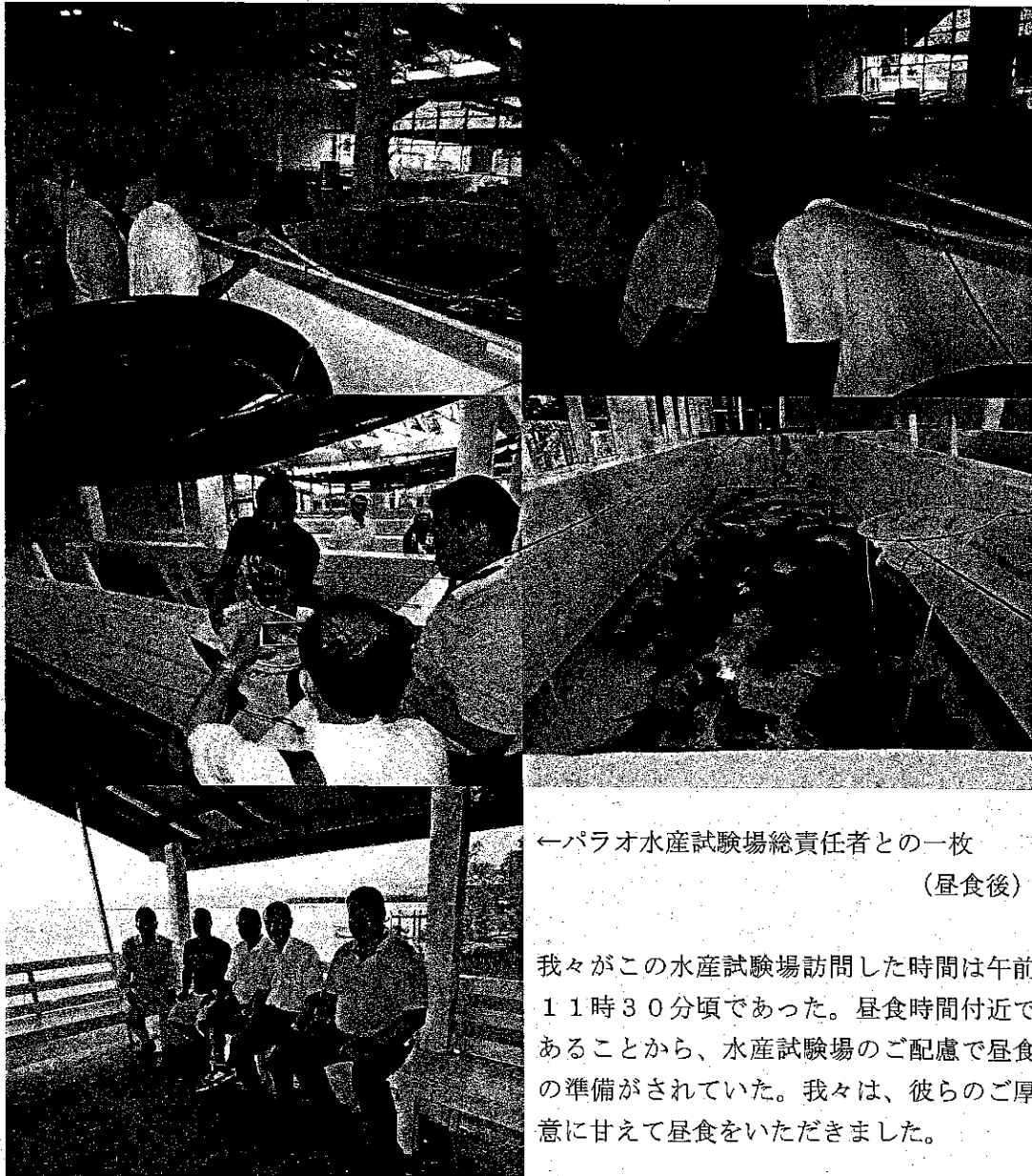


◇パラオ水産試験場



←パラオ水産試験場での養殖状況等の取組を聞く。

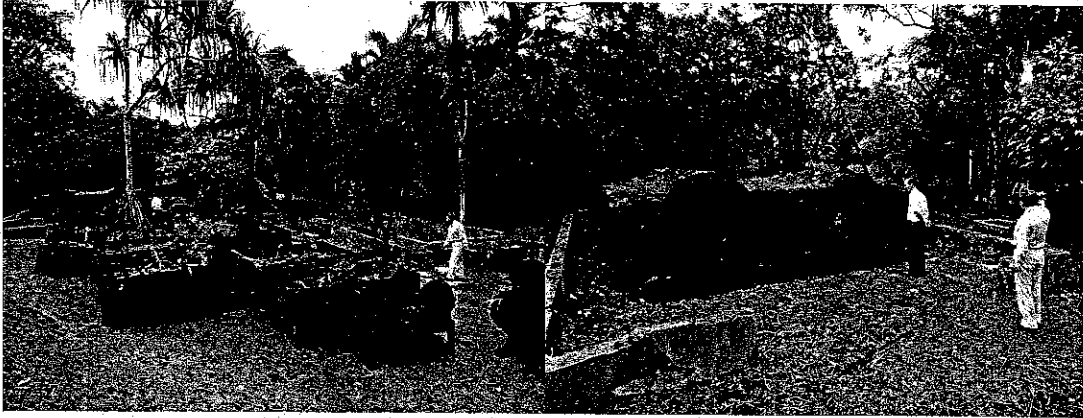




←パラオ水産試験場総責任者との一枚
(昼食後)

我々がこの水産試験場訪問した時間は午前11時30分頃であった。昼食時間付近であることから、水産試験場のご配慮で昼食の準備がされていた。我々は、彼らのご厚意に甘えて昼食をいただきました。

◇旧朝日村パイナップル工場跡地



↑パイナップル缶詰製造機

↑缶詰工場ボイラー跡



◇ガラツマオ州麟鉱石積出港跡



写真後方の島から空中ケーブルにて運搬。写真の建造物で受入れし船に積み込みしていた。受入れ建屋は、米軍の攻撃を受け写真のような状態になった。

◇パラオ本島最北端に設置された旧日本灯台跡



◇パラオ共和国国会議事堂視察

(これまで見る事が出来なかった国会内部に初めて入館許可がおりた)



10月24日

○ペリリュウ島訪問



←コロールからペリリュウ島へ向けて出発。

サイパン沖にある台風の影響でパラオ到着時から風が強く、時折強い雨が降っていました。これによりペリリュウ島とアンガウル島へなかなか連絡が付きませんでした。聞くところによると、パラオ本島と離島の通信網は脆弱で、天候不良によって時折通信不能になることがあるとのことでした。

パラオの携帯電話は、日本の mova や CDMA 当時のシステムで、基本的に通話と現在のショートメールが基本機能です。携帯通信システムに Wi-Fi の電波は無く、現在 3 G への移行工事が行われています。ホテルやレストランに Wi-Fi の設置はありますが、基本的に時間単位でのレンタルとなっています。

当初午前9時出発予定でしたが、強風の影響で波が高くペリリュウ島からの迎いの船の到着が遅れるとのことで午前10時出発となりました。パラオはパラオ本島とペリリュウ島が珊瑚環礁の中にあるので比較的波が穏やかなはずなのですが、パラオ本島付近を離れると波が高かったです。アンガウル島は外洋にある島で、明日予定しているアンガウル島訪問は不可能になる可能性が高いことを告げられました。いずれにしても、明日の海の状態を見て決定することになりました。

我々は、事前に在パラオ日本国大使館書記官にお願いをしてアンガウル州知事にアポイントを取っていました。大使館へ訪問した際に、アンガウル訪問が天候不良により厳しいと思われると言われました。また、アンガウル州知事は、我々がペリリュウ島からコロールへ戻ってきた晩に会食しながらの面会を、と、提案してくださいました。

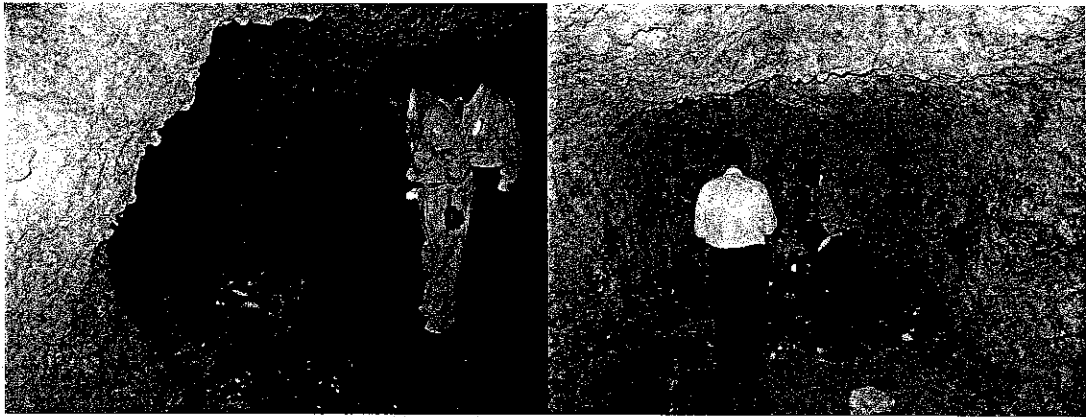
○戦跡調査

◇千人洞窟

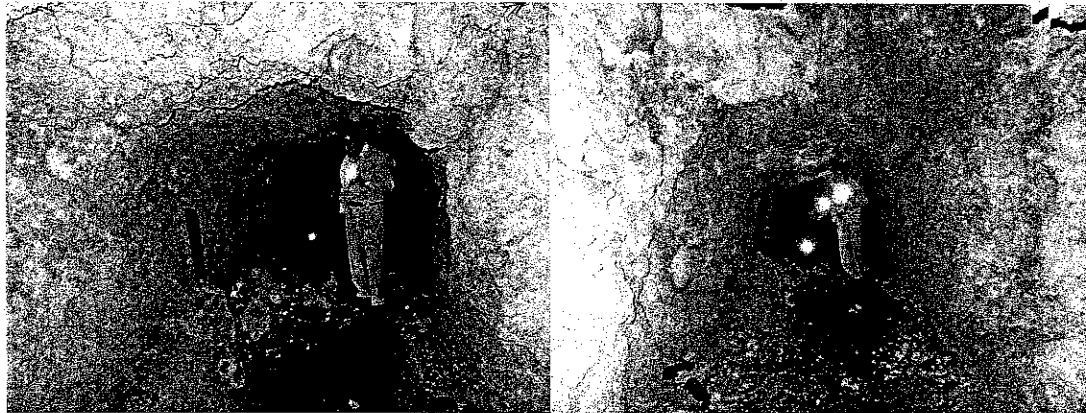


←千人洞窟入口

説明は英文になっています。



↑ 遺骨が発見された場所で参拝しています↑
↓ 遺骨がある可能性がある場所。今後発掘作業に入るとのこと↓



◇日本人墓地



これらの墓を日系パラオ人の方々が守ってくれています。

◇西太平洋戦没者の碑



↑西太平洋戦没者の碑へ拝礼

↑アンガウル島へ拝礼



←西太平洋戦没者の碑公園

整備されていたものの数度の台風の爪痕が所々に見られた。

我々は、天皇皇后両陛下の訪れたおなじ地に立ち拝礼してきた。

◇埋設された旧日本軍戦車



ペリリュー島陥落の後、米軍は遺体の残っている旧日本軍の戦車を湿地帯に埋めた。ジャングルとなった内部に車輪だけが見える戦車や車両の車軸が残っている。

後日、戦車内部から遺骨が見つかったと連絡が入る。2018年11月、戦車掘り起こしの申請をペリリュー州とパラオ政府に打診したとの事だった。2019年11月頃には、発掘作業に入ることが出来るかも知れないとのことでした。

◇旧日本軍95式戦車



この戦車は、他の湿地帯で発見され、その地主が戦車内に遺骨が無かったためこの地へ運んで展示したという。旧日本軍の戦車は、背丈ほどの高さしかない。

◇米軍LVT



我々の背丈を優に超える大きさ。旧日本軍95式戦車と比べると・・・
LVTの後方ギアのベアリングはまだまだスムーズに回転していた。
ペリリュー島守備隊は、この様な巨大な敵と戦っていたのだ。改めて、先人たちの強靱な精神力に敬服する。

◇ペリリュー島守備隊隊長中川大佐自決洞窟



途中までは、不発弾処理がされていて歩きやすい道だった。しかし、中川大佐の自決洞窟は立ち入り禁止区域の中にあり、道なき道を進むことになった。先頭を歩くガイドが、安全を確認しながら進む。途中に山があり表面は岩に見えるが珊瑚である。湿度が高いせいか非常に滑りやすい。

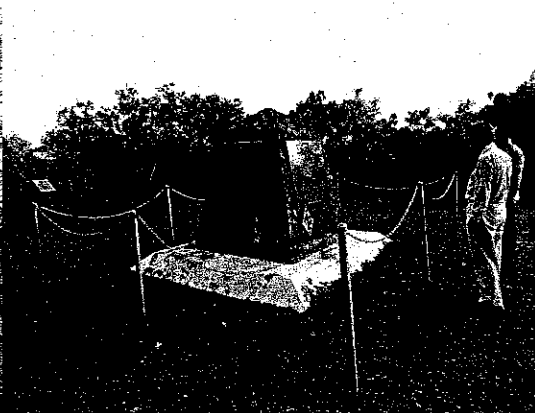


←中川大佐が自決した洞窟

写真は洞窟ではないが、これは米軍の絨毯爆撃によって天井が崩落したとされている。



◇ペリリュー神社



◇旧日本海軍司令部跡



←旧日本海軍司令部跡

艦砲や陸戦銃撃戦の弾痕が残る建物。司令部だったこともあり、壁や天井に装飾が施されていたような跡がみられた。

写真左側森の中に、米軍が占領後設置したとされる半円のハンガーが今も尚残っている。写真右側の森の中には、防空壕がある。

10月25日

○アンガウル島訪問

やはり、天候不良につきアンガウル島へ行くことが出来なくなりました。そこで、ペリリュー島内の戦跡調査を継続することにした。尚、アンガウル州知事から連絡があり、州知事はコロールにいるとのことと、パラオ唯一日系企業が共同経営しているホテル『パラオ・パシフィック・リゾート・ホテル』での夕食を指定された。

○ペリリュー島戦跡調査

◇オレンジビーチ



←オレンジビーチ

きれいな海岸線ですが、米軍はこの地から上陸作戦を展開した。写真右側の奥手に破壊されたトーチカがある。以前、ある国のテレビクルーがペリリュー島に訪れた際、このトーチカを掘り起こして遺骨を発見。州政府の許可無く持ち出そうとしたことで遺骨を没収、遺骨を元に戻した上に罰金刑。更には、入国禁止の措置が執られたという。



本当にきれいな海であるが、当時は非常に激しい戦闘だったこともあり、この海が真っ赤に染まっていたという。

◇ペリリュー島飛行場跡



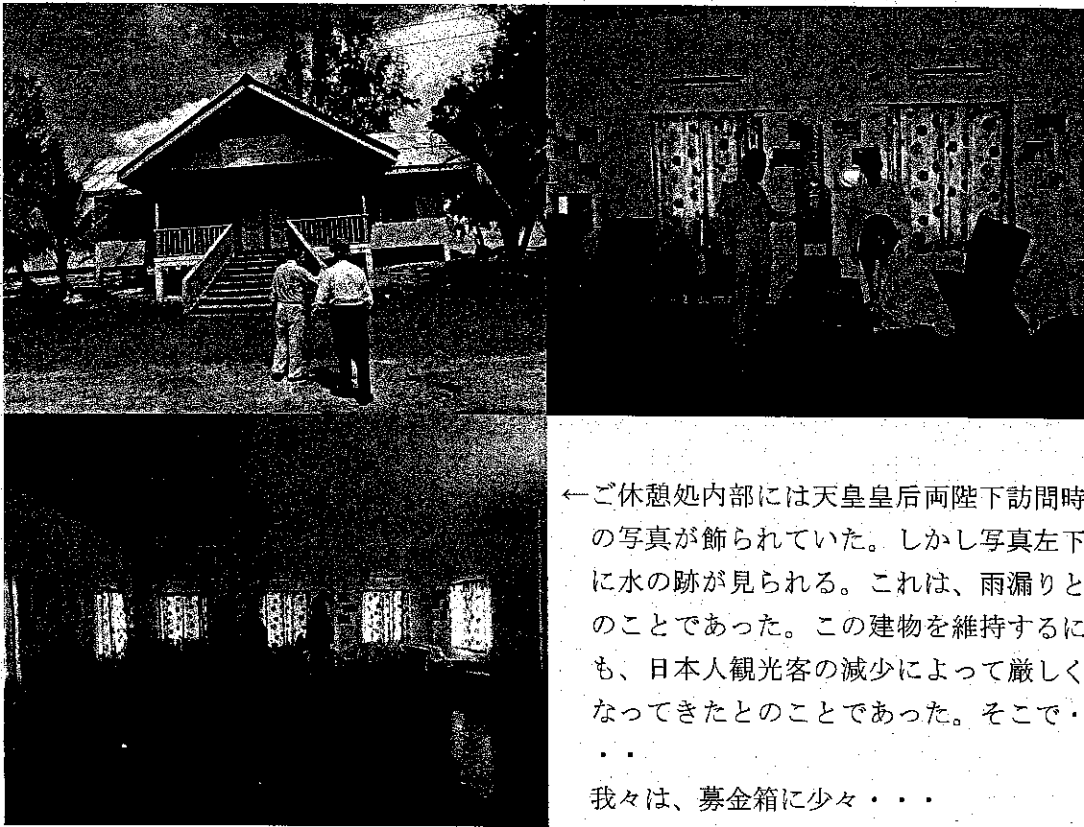
←現在残っている滑走路

この滑走路に正方形のコンクリート製のヘリポートがあった。これは、天皇皇后両陛下を乗せたヘリコプターの着陸スポットとして利用された物です。

◇ゼロ戦の残骸



◇天皇皇后両陛下ご休憩処



←ご休憩処内部には天皇皇后両陛下訪問時の写真が飾られていた。しかし写真左下に水の跡が見られる。これは、雨漏りとのことであった。この建物を維持するにも、日本人観光客の減少によって厳しくなってきたとのことであった。そこで・

我々は、募金箱に少々・・・

◇ペリリュー島南波止場（アンガウル島へ出発予定だった波止場）

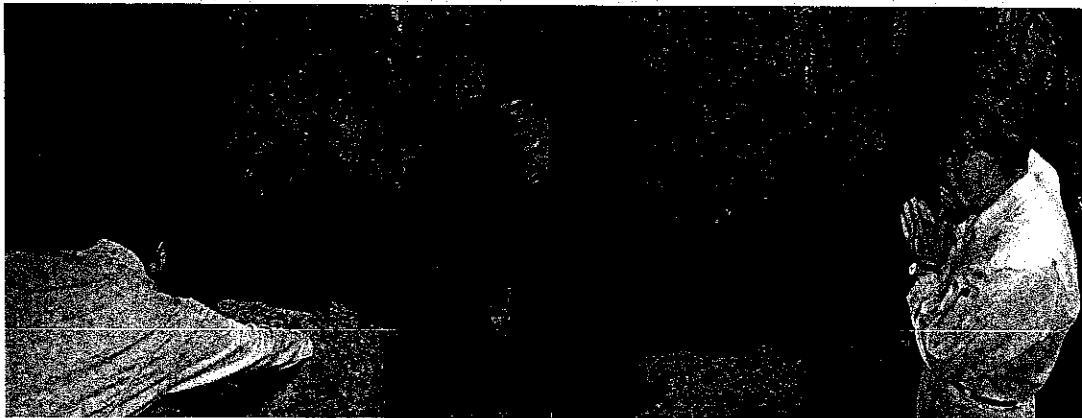


見える海は少し行った先が珊瑚環礁帯の外れ、白波が立っている外側が外洋となります。写真ではわかりづらいですが、2～3mの波である。この波では、転覆の恐れがあった。

◇戦車隊駐屯地壕跡及び浜街道抜け道



壕の外側は、ジャングルとなっている。高い湿度、風が入ってこない空間、外もほとんど無風状態であった。このような環境の中で壕を設置するなど、当時掘削機械などない時代、ほとんど手掘りで珊瑚石を掘った先人たちの苦労は計り知れない。





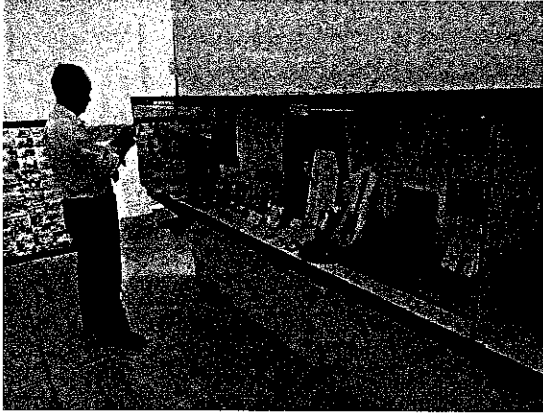
◇第2次世界大戦博物館



←博物館の看板の下に機雷が置かれている。

旧日本軍倉庫。銃撃戦の跡が多数→
↓以下、博物館内部





←青森県出身者部隊の展示ブース

↓この博物館も維持経費が厳しいとのこと
だったので我々も少々・・・



◇ペリリュー小学校訪問



左上：授業風景

右上：JICA で派遣されている先生へ青森土産

左：JICA 講師と会談後

◇ペリリュー島到着時に撮影を忘れた写真・・・



◇コロールへ戻る途中・・・



←↓写真中央。海から出ている物体が・・・



←海に入り、近くに行くと・・・

はい。ゼロ戦でした。比較的浅いところなので、台風等で海が荒れると流されることがあるそうです。

○アンガウル州知事との意見交換



- ・アンガウル州の主な産業は漁業。観光産業は成立していない。観光客が島まで来ることが出来ない。
- ・アンガウル州はパラオ語・英語、そして日本語を公用語にしている。これは、アンガウル州憲法に記載されている。全世界を見ても公用語に日本語を指定しているのは、パラオ共和国アンガウル州だけである。このことから、今回、州知事としては、青森県と姉妹都市を結ぶ考えを持っている。
- ・アンガウル州憲法の和訳を持参いただいたことに感謝する。今日は、アンガウル州議会議長・第1酋長・第2酋長と一緒に来ました。この州憲法日本語版を次回の州議会に上程し、承認後サインを行い州政府に保管する。
- ・アンガウル州の欠点は、港が小さいこと。現在の港は、日本が麟鉱石を精製した物を積み出すために作られた物が使用されている。拡張する予算もない。以前は、パラオ本島から小型機で渡ってくる観光客もいたが現在はほとんど無い。
- ・遺骨収集については、現在事前調査を受け入れている。遺骨が発見された場合、アンガウル州政府は協力することを約束する。



写真右から

青森県議会議員

小桧山吉紀・阿部広悦・工藤慎康・

齋藤直飛人

アンガウル島戦没者遺族代表 [REDACTED] 氏

アンガウル州知事・アンガウル州議会議長

・第1酋長・第2酋長

2017年11月、工藤慎康はパラオを再訪問。アンガウル島にて州知事と面会。どうしても州憲法の日本語版が欲しいと、アンガウル州憲法の英語版を託される。しかし、工藤慎康がこの作業をするわけに行かない。そこで、翻訳を [REDACTED] 氏（アンガウル島日米戦争生還兵・元小笠原水産試験場所長）の御令嬢 [REDACTED] 氏に依頼する。 [REDACTED] 氏によるとアンガウル州憲法の日本語翻訳作業は、在パラオ日本人と供に取り組んだ。その翻訳の監修に [REDACTED] 氏、寄贈者はアンガウル戦で亡くなられた叔父の遺族として [REDACTED] 氏に依頼した。

V：視察を終えて

日本から遙か3800キロ南に位置する、南国の島、パラオ諸島は、暖かいリゾートの観光地、くらいにしか感じていませんでした。

今回その地を訪れ、過酷な過去の戦跡（戦争の跡）を目の当たりにして、過去のイメージは壊れ、そこをたどった記録の一部を文にすることにしました。

この国は日本と米国とに国交があり、非常に親日的な国であります。米国の文化が色濃く残る島として少し前までは、成田からの直行便があり、日本からの観光客も多くあったとのこと。若い人たちからスキューバダイビングのメッカとして高い人気を誇っていたと日本大使館で伺いました。しかし、その直行便がなくなり、インチョンやグアム経由の航空機しかなくなると、時間がかかりすぎるとのこと、観光客は減少の一途をたどり、現在日本からの観光客は一頃に比べると、大変少ないとのことでした。パラオ観光局からは、是非直行便の復活を関係各位に直訴してほしいとのことでした。

パラオのもうひとつの顔として、印象づけられているのは太平洋戦争時の激戦地ということ。その中でも特に激戦地といわれたペリリュー島を訪れました。この島は4年前天皇陛下が慰霊のため訪れたところであり、75年もの以上経過しても、尚錆びた戦車や車がそのままの形をとどめているもの、建物の形は残っていないものの、トイレなどコンクリートの構築物があると、明らかに人が住んでいた痕跡が残る跡地、そしてなによりも驚いたことは、洞窟の中を散策したときに、穴のあいたヘルメットや、いまだ人骨が散乱していることでありました。

更に驚いたことは、この島にある戦争博物館に行った時のことですが、戦死した方の住所が、六戸の方、七戸の方、十和田市の方など、青森県人がたくさんいたことでした。国家の命令とはいえ、赤紙一枚で遙か南方の島へ飛ばされ、そこで命を落とした彼らの遺骨を早く日本へ戻すことが今の人に与えられた責務ではないのかなと、何よりも戦争は絶対にしてはならないという思いなど、いろいろと考えさせられた今回の視察でした。

平成30年11月

青森県議会議員 小桧山 吉紀

第3号様式(第2条関係)

(その2)県内における宿泊を伴わない政務活動用

政務活動実績報告書

議員名 小檜山 吉紀

経 費	調査研究費			
年 月 日	場 所	訪 問 先 等	概 要	整理番号
4月16日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(4月分)を支出した	6
5月15日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(5月分)を支出した	7
6月15日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(6月分)を支出した	8
7月20日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(7月分)を支出した	9
8月20日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(8月分)を支出した	10
9月18日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(9月分)を支出した	11
10月15日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(10月分)を支出した	12
11月15日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(11月分)を支出した	13
12月17日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(12月分)を支出した	14
1月15日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(1月分)を支出した	15
2月15日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(2月分)を支出した	16
3月15日	青森市長島	自由民主党会派	所属会派の事務用品の購入等に要する経費に充てるための事務委託料(3月分)を支出した	17

(その2)県内における宿泊を伴わない政務活動用

政務活動実績報告書

議員名 小檜山 吉紀

経 費		調査研究費		
年 月 日	場 所	訪 問 先 等	概 要	整理番号
4月11日	青森市長島	教育委員会 和嶋教育長	郷土史のあり方について調査を行った	46 47
4月15日	青森市安田	—	青森県立美術館にて棟方志功コレクション展の調査を行った	48 49 50
4月24日	青森市長島	農林水産政策課 担当者	県産米の市場価格に関する調査を行った	(R2.8.5訂正) 51 52
5月1日	青森市本町	青森港新中央埠頭	大型客船対応ターミナルの調査を行った	53 54
5月8日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	男女共同参画社会に関する現状調査を行った	(R2.8.5訂正) 55 56
5月9日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	一般質問内容の打合せを行った	(R2.8.5訂正) 57 58
5月11日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	防風林植樹の進行状況について調査を行った	(R2.8.5訂正) 59 60
5月14日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	密漁監視体制に関する調査を行った	(R2.8.5訂正) 61 62
5月18日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	障害者雇用の現状調査を行った	(R2.8.5訂正) 63 64
5月29日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	種子法による種子生産の仕組みについて調査を行った	(R2.8.5訂正) 65 66
6月12日	青森市長島	青森県私学協会事務局長	私学からの要請文一本化に関する調査を行った	67 68
6月23日	青森市三内	—	三内丸山遺跡時遊館の調査を行った	69 70 71

(その2)県内における宿泊を伴わない政務活動用

政務活動実績報告書

議員名 小檜山 吉紀

経 費	調査研究費			
年 月 日	場 所	訪 問 先 等	概 要	整理番号
7月2日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	青森県庁における障害者雇用の現状調査を行った	(R2.8.5訂正) 1072 1073
8月8日	青森市長島	企画政策部世 界文化遺産登 録推進室 野上 主幹	世界遺産登録に向けたスケジュールに関する調査 を行った	(R2.8.5訂正) 1082 1083
8月17日	三戸郡南部町	—	大雨警報発令翌日の河川状況の調査を行った(馬淵川、猿辺川、熊原川)	84 85 86 87 88
8月20日	青森市長島	企画調整課 東課長	次期青森県基本計画に関する調査を行った	89 90
8月28日	青森市堤町	リンクステーショ ンホール青森	青森県県戦没者追悼式に出席し、調査を行った	91 92
9月14日	青森市長島	港政グループ 秋庭総括主幹	八戸港におけるヒアリの発生状況について調査を行った	93 94
10月17日	青森市長島	畜産課 上原子 総括主幹	青森県産和牛の商標登録に関する調査を行った	95 96
11月17日	青森市本町	—	県立郷土館常設展の調査を行った	99 100 101
2月14日	青森市長島	財政課 大村財政主幹	県立航空科学館リニューアルの概要について調査 を行った	(R2.8.5訂正) 1107 1108
2月18日	青森市長島	青森河津ボート 会 財政課 夫村財政主幹	県政推進に係る主要課題について調査を行った。 小川原湖タンク事故による補償内容に関する調査 を行った	(R3.1.19訂正) 1109 1110

領収書等の写し集計表

経 費		研修費			
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
104	30.12.5	3,000	総合エネルギー政策研究会	勉強会会費	青森市長島
合 計		3,000			

領収書等の写し集計表

経費	広聴広報費				
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
44	30.7.2	118,800	つたや会館	会場借上料	三沢市松園町
45	30.7.2	130,500	朝日印刷	印刷製本費	三沢市松園町
合計		249,300			

支出証明書

NO. 1

経費		要請陳情等活動費				
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	事業名、使途及び内容	備考
74	30.7.18	3,500	0	ガソリン代	航空機騒音対策の要請 30.7.18 青森市長島	青森市⇄自宅 140 km × 25円
計		3,500				

上記のとおり相違ないことを証明します。

青森県議会議員

小檜山 吉紀



領収書等の写し集計表

経 費		要請陳情等活動費			
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
75	30.7.18	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
合 計		1,360			

支 出 証 明 書

NO. 1

経 費		会議費				
整理 番号	支出年月日	支出額	支出先	品 名	事業名、使途及び内容	備考
97	30.11.16	3,500	0	ガソリン代	県施策推進説明会出席 30.11.16 青森市長島	青森市⇄自宅 140 km×25円
計		3,500				

上記のとおり相違ないことを証明します。

青森県議会議員
小檜山 吉紀



領収書等の写し集計表

経 費		会議費			
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
98	30.11.16	1,360	青森県道路公社	通行料金	青森市長島
合 計		1,360			

領収書等の写し集計表

経 費	資料購入費		支出先	品名	備考
	整理番号	支出年月日			
	1	30.4.24	37,000	(有)丸井新聞店	新聞購読料(30.4~31.3月分)
	2	30.4.24	37,116	東奥日報三沢東部専売店	新聞購読料(30.4~31.3月分)
	3	30.4.24	40,800	東奥日報三沢東部専売店	新聞購読料(30.4~31.3月分)
	4	30.4.26	22,644	聖教新聞十和田販売店	新聞購読料(30.4~31.3月分)
	5	30.5.31	41,964	「赤旗」三沢出張所	新聞購読料(30.4~31.3月分)
	43	30.7.3	3,000	青森県庁消費生活協同組合	図書購入費 平成30年度版青森県職員録
合 計			182,524		

